熊谷空襲と星川
夏の夜の静寂と祈りの像の陰影

熊谷空襲の被害

太平洋戦争終戦前夜の1945(昭和20)年8月14日深夜から15日未明にかけて市街地を襲った熊谷空襲は、被害を受けた多くの人が星川で犠牲となった。郊外を除く市街地における被害状況は、被災面積358,000坪(市街地面積の74%)、被災戸数3,630戸(全戸数の40%)、罹災者15,390人(うち、死者234人、負傷者3,000人)と甚大なもので、県内最大規模であった。そして、1946年10月、熊谷市は県下唯一の戦災都市に指定された。

熊谷空襲と北村西望「戦災慰霊の女神像」
―星川と彫刻家の祈り―

J.S.バッハ(無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番ニ短調)。一説には、予期せぬ突然の死を迎えた妻マリア・バルバラへの哀悼の曲と言われている。パルティータとは舞曲による組曲を意味し、第1楽章のアルマンドから始まり最終楽章の長大なシャコンヌへと至る。バッハの一つの到達点と評価されるシャコンヌは全体を通して強い緊張感に満ち、崇高な印象を与える。絶望と不安の曲想が重なる中、深い精神性と温和な鎮魂の音がこだましている。

死者に捧げるために芸術家は何をなし得るか。芸術家はその問いと向き合い苦悩し、祈りの作品を作り上げる。熊谷市街地の中心を流れる星川にも慰霊のための彫刻が存在する。

かつて星川は星溪園にある「玉の池」を水源とし、庶民の生活や中山道熊谷宿、染織などの歴史と密接に関係している。1945(昭和20)年の夏、星川には苦難の記憶が刻まれた。熊谷は終戦直前の8月14日の深夜から15日の未明にかけて米軍の空襲を受けた。市街地の大半が火の海と化し、逃げ惑う多くの人々が星川に身を投じて命を落とした。市内では空襲により266名もの尊い命が奪われる悲劇に見舞われた。

戦後の星川は戦災復興事業として約6年間を要し河川改修を実施。現在の直線的な流れとなった。戦後30年が経過した1975(昭和50)年、戦没者の慰霊と永遠の平和を祈願し、戦災慰霊碑建立奉賛会が星川の「いこいの広場」に日本彫刻界の巨匠・北村西望「戦災者慰霊の女神像」を建立。像は高純度アルミニウム製で穏やかな銀色を発し、表情は慈愛に満ちている。北村は出生した被爆地・長崎の「平和祈念像」や熊谷駅前の「熊谷次郎直実像」の作者として知られる。

約10年後、市の星川彫刻通り構想の一環として、北村の女神像に隣接する区画に富永直樹「新風」のブロンズ像が建立された。新たな風を受けた若人の情熱が感じられる。富永は北村の弟子で同じく長崎出身。平和祈念像と対をなす「母子像」を爆心地公園に制作した。星川では北村の像が戦災慰霊の祈りを、富永の像が未来に向けた希望を表現している。師弟彫刻家の像が長崎と熊谷の慰霊の歴史を結び付けている。1950(昭和25)年以降、毎年8月16日、星川ではとうろう流しが開催され、水面に浮かぶ灯火に平和への祈りが捧げられる。星川のせせらぎは絶望と悲劇を乗り越えるシャコンヌとして響き、夏の夜の静寂と祈りの像の陰影を優しく受け止めている。

(初出『埼玉新聞』2016年7月5日掲載、熊谷ルネッサンス」 山下祐樹)

灯籠作成のメンバーと

宮城県気沼市立気仙沼小学校訪問

東日本大震災発生の年に第一回目の気仙沼小学校訪問をさせていただき、今年で第七回目となりました。気仙沼市内の復興作業は順調に進んでおり安堵いたしました。

しかし、残念なのは気仙沼小学校の児童数が年々減少していることです。幸いにも旧市街地には、新しく高層住宅が建ち並んでいたことです。しかし、移り住む人は少ないようで、とても残念で複雑な思いでたまりません。

今年も、くまがや小麦の会」の皆様のご協力により、義捐金十万円を気仙沼小学校児童代表に、お渡しする事ができました。学校訪問の様子は、地元紙、「三陸新報」にも報道されました。その記事を紹介いたします。(M・M)

6月24日の地元紙「三陸新報」

認定NPO法人くまがや小麦の会 第11回定例総会が開催されました。

5月27日(土)筍亭で41名のご出席で開催されました。記念講演は熊谷市江南文化財センターの山下祐樹氏に「文化財で町おこし」をテーマにお話頂きました。熊谷市のうちわ祭りの経緯を踏まえ、深いお話に聞き入りました。新しく行事に御参加頂いた埼玉福興株式会社の新井利昌社長に「クラリスファーム」の農業事業のお話を伺いました。障害者が生き生きとオリーブづくりに邁進しています。オイルは国際的なコンテストで金賞を獲得するまでに成長しています。小麦の会と新しい事業展開が出来ます様活動してゆきたいと思います。

地粉で作る長野発「おやき」講習会

おやきの講習会は、長野特産の「丸なす」が収穫される7月に実施したいと予定しておりました。講師は、長野県篠ノ井こなもん会会長、元長野県公立高校校長の宮本照子先生にお願いしました。篠ノ井こなもん会は、篠ノ井発こなもんの味と品質のステップアップ等を通じ、地域アイデンティティ発揮と地域振興に努め、篠ノ井が味のある、元気で楽しいまちとなる事を趣旨として、6年ほど前に結成されました。今回は、①切り干し大根と野菜、②ジャガバタ、③丸なすの3種類のあん(具)を使ったおやきを教えていただきました。長野産地粉(オレゴン)を使用し、ぬるま湯でこねて30分以上ねかした、生地を一個分ずつに分けて、それぞれ具を包みました。お饅頭づくりで慣れている会員の皆様は手際よくおやきをまるめました。両面にこんがりと焼き色が付くまでフライパンで焼き、丸なすは15分、他は10分蒸し、見事なおやきが出来上がりました。宮本先生からは、地元で作られているお料理も紹介いただきました。「おやき」を通して食文化の違いを十分に味わい、和やかな楽しい講習会でした。さっそく、熊谷産小麦(さとのそら)を使ってのおやきに挑戦してみましょう。(M・M)

熊谷空襲の語りべの会 8/16

熊谷空襲により奪われた尊い命。今年も8月16日に戦災慰霊の祈りを込めて、多くの人が命を落とした星川でとうろう流しが開催された。とうろう流しを前に、熊谷青年会議所の主催により、星川の源流である星溪園で熊谷空襲の語りべの会が開かれた。

会には石山美江子さん(84)、飯田ヒサさん(89)、青木ユリ子さん(81)、清水昭治さん(77)が参加し、熊谷空襲の体験談や平和への思いを語らった。石山さんからは空襲後の人々の生活がいかに大変であったかとの実体験が、飯田さんからは身近な被害から向き合った空襲の悲劇について発言があった。

青木さんは戦後が遠ざかり空襲を次世代へと語り継ぐ必要性を話した。清水さんは「戦争は人々や家族を容易に傷つける。将来に渡って戦争を否定し平和を愛する国であって欲しい」と語った。(Y)

熊谷空襲研究をめぐって

熊谷市教育委員会は国立国会図書館所蔵の米軍機密文書「米国戦略爆撃調査団文書」について調査研究を進めている。

この中の「攻撃目標情報」と題する文書は、空襲の10日前にあたる1945年8月4日の作成。群馬県太田市を中心に軍用機を生産していた中島飛行機と熊谷の関連について、多くの記述があった。熊谷は「中島飛行機の部品工場ネットワークや太田、小泉(現在の群馬県大泉町)、宇都宮の最終組立エリアとも近距離の交通網で結ばれた重要拠点」としたうえで「市内に三つの重要な部品工場、複数の小工場があり、攻撃目標として高い価値を有している」と熊谷空襲という悲劇に対して、資料等を前提とする調査手法は幾分か冷淡なるものと理解されることもあるかも知れない。しかしながら、熊谷空襲の歴史的情報を淡々と積み重ね、アーカイブスすることで、見解立場に左右されない情報として次世代に伝えることができると思われる。米軍資料の分析に際しては、いまだ明らかにされていない資料を含めた多岐に渡る調査が重要であり、戦争を経験した世代が減少する中、新たな知見に向けて調査研究を進めることが現代の世代が持つ一つの責務であるようにも感じている。

これらの考察が熊谷地域の歴史を語り継ぐ普遍的な基礎資料となり得る可能性を信じ、今後も熊谷空襲の調査研究を進めていく所存である。(Y)

文化財で街おこし
大里の好古家と考古学の幕開け

明治10年(1877)、「吉見百穴」から数キロ北方の斜面に位置する、墨岩横穴墓群」の発掘が行われた。この発掘は幕末の志士・根岸友山の次男として当主を担った根岸、武香と、見聞録・桐窓夜話」を著した須藤開邦すとうかいほうら大里の名士たちが中心となり事業を進めた。

同年、アメリカ人のエドワード・S・モースが大森貝塚を発掘していることを考えると、この横穴墓群の発掘は、当時の考古学の先端をいく試みだった。武香は埼玉県会議長を初代の竹井澹如から引き継ぎ、第二代議長に選出されるなど政治の分野で活躍した。また貴族院議員として行政に尽力する中で、古物収集や考古学の分野にも強い関心を抱いていた。一方、開邦も地元の振興に力を注いだ素封家(財産家)に留まらず、明治時代の自由民権運動にも参画するなど、社会事業を実践していた。「好古家」とも言える武香と開邦の先見の明が、地域の文化財保護や考古学の発展に寄与したのである。

その後、多くの学者や武香との交遊があった著名な外国人などが根岸家を訪れている。モースをはじめ日本の考古学を確立したハインリッヒ・フォン・シーボルトら、近代日本の学術を先導した人物が、根岸家長屋門(写真)をくぐりぬけた。こうして熊谷に新たな時代の息吹がもたらされたことは、幸運な出来事として後世まで語り継がれていくことだろう。

(熊谷市立江南文化財センター 山下祐樹)

熊谷の道端から ～ゆるゆる散歩雑記帳～
「平和の塔」の扉が開く日

夏の熊谷市で戦災犠牲者慰霊の行事といえば、まず星川とうろう流しが挙げられるが、妻沼聖天山でも3日間に渡る盆祭りの最終日・8月15日に「戦争殉難精霊廻向法会」が行われる。この日は普段閉ざされている「平和の塔」の扉が開かれる年に一度の貴重な機会。平和の塔はその名の通り、戦没者供養と世界平和を祈念し建てられたもの。この日を憶えておき、平和への祈りを胸にお参りをしながら扉の向こう側をちらりと覗いてみたい。また石舞台上に櫓を建てて3日間続く夜の盆踊りは「サザエさん」が最も盛り上がり、熊谷中心地の盆踊りとはまた違う雰囲気が楽しみ。(N・T)

うちわ祭 第4回 官民協働 市役所通り 清掃作戦

7/23(日) 7:00～9:00

ご参加いただく人数が会を重ねるごとに、多くなってきました。今回は61名のご参加を頂きました。民営化が成り、市役所通りに新しく事務所を構えた(一社)熊谷観光協会の皆様も大勢ご参加くださいました。熊谷市役所からはスポーツ観光課の皆様がご参加くださいました。今年は掃除区域を17号線を超えてアンダーパスの手前までと致しました。官民の協働から「熊谷元気になーれ！」

玉川中学校職場体験学習 8/2(水)3(木)4(金)

今年は二校の中学校が小麦の会の体験学習に参加してくれました。小麦の会会員の講師担当者は、中学生を相手にパウンドケーキ作りを教えます。熊谷産小麦(彩光)(薄力粉)を使用し、一般のパウンケーキの3倍のラム酒付ドライフルーツ、クルミを入れた小麦の会のパウンドケーキを焼きます。焼き上がったら熱々を試食です。

大幡中学校職場体験学習 7/25(火)26(水)27(木)

昨年に引き続き今年は二人の女子生徒と一人のパテシエ希望の男子生徒が参加してきました。

セレモニーホール ゆうえん 埼玉県熊谷市の葬儀場 年中無休・24時間 おまかせ0120-138-444
亡き人に心をこめて JAくまがや指定
万一の場合は当ゆうえんにご相談下さい。
生花祭壇 生前予約葬 ゆうえん友の会
〒360-0813 埼玉県熊谷市円光1-17-13 TEL：048-525-5444・FAX：048-525-5446

よい環境が、人を育む。 育つ 遊ぶ 学ぶ
2才児教室 Little Ricky
Rissho Kindergarten
一貫性のある教育の実現
学校法人 熊谷立正学園 立正大学系列 立正幼稚園
http://www.rissho.ed/jp/
埼玉県熊谷市楊井1748-2
TEL.048-536-1688
FAX.048-536-2168
Facebookでいいねしてね 立正幼稚園公式Facebookページがあります スマートフォンからも園の情報をチェック

吉田・櫻井税理士法人
税理士 吉田 嘉高
税理士 吉田 貴之 税理士 櫻井 富美子
〒360-0014 熊谷市箱田2-2-8
TEL:048-521-0334 FAX:048-521-4506

くぼじまグループ くぼじまクリニック KUBOJIMA CLINIC
理事長・院長 大島 譲二
●総合内科(かかりつけ医)
●人工透析
〒360-0831 埼玉県熊谷市大字久保島1785-2
電話:048-533-7511(代) FAX:048-533-4606
医療グループ・クリニック
くまがやクリニック 熊谷市大幡 かみのクリニック 熊谷市上之 おおしまクリニック 深谷市上柴町西 こくさいじクリニック 深谷市国済寺
http://www.kubojima.com/home.html

特定医療法人 同愛会 熊谷外科病院
・外科・皮膚科・内科・泌尿器科・消化器科・リハビリテーション科・循環器科・肛門外科・整形外科・乳腺外来・形成外科・糖尿病外来・脳神経外科・看護部
☎048・521・4115(代)
〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田3811-1
地元密着!!安心!!安全な医療を目指して!! 皆様の健康づくと医療を安心安全に貢献します。

株式会社 平松
代表取締役 日向研一朗
歴史が育む無限の可能性…地域密着・食品卸売業
原材料食品は包材まで御用命下さい
We are HIRAMATSU
〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL：048-521-0026
●ビッグベアショッピングモール(埼玉県熊谷市代1067) ケーズデンキ・イオンモール・スポーツオーソリティー・ずたみな太郎・大潤虎
●平松運輸株式会社(埼玉県熊谷市中奈良1797-1)

熊谷の風土と歴史の香りをお届けします
勇猛奮戦 熊谷奮ビール 厳れた風度を保つための、有機特別栽培の麦芽90%使用のコクと爽やかな飲み口を生み出したビールです。
そら夏の焼酎 夏蔵 モンマセレクションでは入賞の栄誉を重ねたたのもです。「ゆったりとのそもう夏の風味を、そのまま生かした若々しい香りと豊かなコク」。日本で初めてのそら夏の焼酎です。
小麦の語らい 熊谷産小麦・米100%使用 全国有数の小麦の名産地、熊谷で造られたさらりとした口当たりの小麦焼酎です。
定休日:日曜日 近江屋酒店 http://www.oumiyasaketen.com/
熊谷市肥塚4-7 TEL.048-521-1009 FAX.048-521-3198

[時代はリサイクル]の精神で、更なるリサイクルに挑戦し続ける
リサイクルの亀井産業グループ
環境問題への対策として、CO2排出を削減するために、
太陽光発電 始めました。
【大内沢太陽光発電所 メガソーラー発電中】
【発電容量 1,725.5kW】
亀井産業株式会社
埼玉県熊谷市ニッ屋松原番地 TEL048-532-3391 FAX048-532-5235
東秩父事業所・秩父事業所・深谷支店
熊谷カーボン
埼玉県深谷市荻在家2483 TEL048-531-4383
熊谷カーボン ソーラー発電中 18.24kW